

## キャリア教育の推進 ～自らの生き方を見つけ、実現する力を育成する～

平成 25 年 5 月 1 日  
教育推進機構会議

### <弘前大学におけるキャリア教育の考え方>

社会全体の状況の変化の中で、若者は様々な困難に直面している。なかでも、自立できない若者の存在はたいへん深刻な問題であると考えられる。

例えば、就職しても早期に離職してしまう若者が多く見られる現状が指摘されている。これは職業意識の未熟さに加え、コミュニケーション能力のような社会人に必要とされる基礎的能力の低下といった要因も考えられる。そこで、キャリア教育の充実は学校教育の重要な課題の一つとなっている。

キャリア教育は、若者が将来、社会的・職業的に自立し、社会の中での自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力を身に付けさせるという視点に立って、教員が日々の教育活動を展開することである。そして、教育を受ける学生は、今後、自立して自らの社会との関わり方、自己の存在意義を見つけるため、何のために学ぶのか明確に意識しながら、個々の専門分野の学問を修得する必要がある。

本学は、かねてより地域の活性化を支える高い教養と幅広い知識を有する社会人と高度専門職業人を養成することを標榜しており、このため、自ら課題を探究して判断する能力を有する自立的な社会人として、国内外で先導的に活動する人材を育成している。

教員は日々の教育活動を通じて、これからの社会を生きていくうえで必要となる力として、学生に「学士力」を確実に身につけさせると同時に、地域に立地する大学の特性として、地域に特有の課題についての知識・理解を深めることを重視し、関連する学修に取り組ませ、それらの教育活動が学生のどのような能力の育成に寄与するのか、個々の専門分野が社会とどのような関わりを持っているのかを学生に示していく必要がある。こうした取組を通じて、本学では、一人一人の学生が地域を担う人材として必要とされる力を身につけるとともに、その過程において世界を見通すことができる力をも身につけることができる教育を実施している。

このことを踏まえ、キャリア教育の実施に当たっては、地域の活性化を支える高い教養と幅広い知識を有する社会人としての必要な力を育成した上で、職業観の涵養や社会に参画する意欲・態度の意識形成、専門的職業人としての役割や意義についての理解を図るものとする。このような取組を通じて、弘前大学の卒業生として社会に羽ばたくためのキャリア発達を促す。従って、本学ではキャリア教育の取組を、社会全体の中での人生の在り方を見つけ、実現するための「生き方教育」と位置付けて行ってゆく。